

2023(令和5)年度沖縄県若年性認知症支援推進事業
本人家族交流会 若年性認知症カフェ 報告書

若年性認知症カフェ

目的：若年性認知症カフェ内で、ご本人と介護家族の交流を深め、孤立しやすい若年性認知症のご本人と介護家族のネットワークづくりを促す。

当カフェの特性

- ・ 孤立する県内の当事者及びその支援者にピアカウンセリングの場を提供する。
就労型活動自助グループの活動の場として提供し、当日初めて参加される当事者とその家族との交流を、自助グループの方に積極的に行っていただけるよう依頼している。
- ・ 経験と技能を活かす場をめざす。交流会の場も活動の場として提供し、それぞれの活躍の場を増やすよう支援する。例：ギターや英会話などそれぞれの特技を活かした教室の開催等
- ・ カフェ内で当事者の意見を活発に頂く。施策へ反映されるよう、意見をまとめる。

1. 日時：2024年3月16日(土) 13時～15時30分

【会場】 新オレンジサポート室（宜野湾市普天間1-9-3）

2. 本日のプログラム 「カラーコーディネーターからのお話し～好きな色との組み合わせ方～」
交流会（近況報告）

3. 参加者数 7人（内訳：当事者1名、家族4名 専門職2名）専門職サポート含む

4. 当日の様子

今月の若年性認知症カフェは、1回開催としました。カラーコーディネーターの資格を30年前位に取得したという若年性アルツハイマー型認知症の当事者による“色についての勉強会”を開催しました。視覚的な色の捉え方から、病院の手術室の専門職の服の色が決められた事等の豆知識等…初めて聞くお話しに参加者夢中になって聞き入りました。後半は好きな色に合わせたコーディネートやインテリア等、質問が途切れることなく出ていました。講師を担当した当事者の生き生きとした笑顔がとてもまぶしかったです° . ☆ \ (°▽°) / ☆ . °

5. 所感

講師を担当した当事者からは、好きな色だけではなく、一人一人肌の色に合わせたコーディネートの仕方を説明して頂き、カフェの時間いっぱい奮闘して頂く勉強会となりました。疲労を感じない程「好きな事は楽しく話せる」とのご本人の声でした。この様な当事者のモチベーション向上するような活躍の場を提供していく事もとても大切だと感じました。今回のスイーツは、苺のシュークリームを準備しました。参加者からドーナツ、フルティカトマト、あまおうどら焼きの差し入れがありました♪



★次回予定：2024年4月20日(土) 以上